

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2005年度第3回常任幹事会議事要録案

日時：2006年3月17日（金） 14:00～17:20

場所：名城大学附属図書館 5階会議室

出席：金城学院大学（鈴木 卓美）

中京大学（中河原 省三）

東海女子大学・東海女子短期大学（児玉 孝乃）

愛知淑徳大学（山森 洋之、木下 恵美子） 中部大学（川勝 照代）

南山大学（栗山 義久、西尾 雅樹）

名城大学（小嶋 伸夫、飼沼 敏雄、小川 明秀） 敬称略

議事に先立ち、理事校名城大学附属図書館長（小嶋）より開会の挨拶、および出席者の自己紹介が行われた。慣例により議事の進行は理事校名城大学附属図書館長（小嶋）が担当し、下記の議題を協議した。

1. 報告事項 [第2回常任幹事会（12月14日）以降の経過について]

1) 私立大学図書館協会、西地区部会関係

ア. 第3回西地区部会役員会・第2回東西合同役員会

理事校名城大学（飼沼）より、資料（p.3～13）に基づき、西地区部会役員会について次のとおり報告が行われた。

- ・2006年度より、加盟校数が毎年増加傾向にあることから、西地区での部会交付金が1校あたり千円増額され、現行の4,500円から5,500円となる。
- ・総会の場において本年も館長懇話会が開催されるが、今年についてはテーマが「図書館職員の配置について」となることから職員の方も陪席ができることとなった。

引き続き、理事校名城大学（飼沼）より、第2回東西合同役員会について、次のような報告があった。

- ・資料（p.47～54）に基づき、予算及び決算報告があった。
- ・資料（p.55～56）に基づき、2005 - 2006年度役員校及び各委員会の委員についての報告があった。
- ・資料（p.57）に基づき2006年度の総会・研究大会について報告があった。

イ. 協会賞審査委員会・研究助成委員会報告

金城学院大学（鈴木）より、資料（p.14）に基づき、協会賞について4図書館から推薦があり、そのうち2件（慶應義塾大学メディアセンター・愛知淑徳大学図書館）が協会賞に値するとして、推薦した旨の報告があった。また、今回Web上のものが始めて推薦の対象となった旨の報告も併せてなされた。引き続き、監事校南山大学（栗

山)より、第2回東西合同役員会において、推薦を受けた2件の協会賞授賞が承認された旨の報告があった。また、活性化策について資料(p.資料15~38)に基づき次のとおり報告が行われた。

- ・協会賞、研究助成の応募をしやすくするため、規程を改正し、次年度の総会に諮る。
- ・これまで研究助成委員会は協会賞審査委員会と兼務で活動してきたが、兼務体制を止め新たに研究助成委員会を再構成して、研究助成制度のあり方を検討することとなった。

ウ．国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員校南山大学(西尾)より資料(p.39)に基づき、次のとおり報告が行われた。

- ・2006年度の海外派遣研修に1名申請があった。
- ・今年度より海外集合研修の派遣人数が2名増員されて7名になった。
- ・テーマは未定だが、11月頃に関東地区の大学でシンポジウムを行う。

エ．ホームページ委員会報告

ホームページ委員会委員校南山大学より資料(p.40~44)に基づき、委員会で検討している事項と改善策について報告があった。また、今後は紙媒体での情報発信ではなく、可能な限り電子手段による情報発信に切り替えていく旨の申し合わせがなされたことの報告がなされた。

3) その他

東海地区図書館協議会事項報告

理事校南山大学(栗山)より、昨年より正式に始まった相互協力活動について、次の報告があった。

- ・公共図書館と大学図書館との連携が活発化してきているが、実績はそれ程あがっていない。
- ・料金に絡む問題の整備が遅れている。

2. 協議事項

1) 2005年度東海地区協議会事業報告および中間決算(案)について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.58~61)に基づき、2005年度の東海地区協議会の事業並びに別紙により中間決算(案)について報告があった。

なお、「館灯」刊行費に関して、「館灯」が従来に比べて早くできあがったことにより年度内に全国の大学に発送することが可能となったので、前年度分と今年度分の双方の発送費を東海地区協議会2005年度の予算の中から捻出することが承認された。

また、企業・執筆者郵送分も2005年度予算の中で処理することが確認された。なお、「館灯」の刊行を早める意味でも各委員会の活動を12月までに終わることが確認された。

2) 2005年度各委員会活動報告及び決算(案)について

ア) 東海地区協議会研究会

研究会幹事校東海女子大学(児玉)より資料(p.64~66)に基づいて活動報告があった。また、併せて別紙により決算(案)報告があった。

イ) 東海地区協議会図書館サービス・システム委員会

図書館サービス・システム委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より資料(p.68~72)に基づいて活動並びに決算(案)報告があった。

ウ) 東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議

理事校(飼沼)より資料(p.73~74)に基づいて活動並びに決算(案)報告があった。

3) 2006年度東海地区協議会総会について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.75)に基づいて報告がなされ、2006年度の総会を中京大学で開催することが確認された。なお、開会挨拶を会場校である中京大学(館長)に依頼することとなった。

4) 2006年度東海地区協議会研究会事業計画について

次年度研究会幹事校中部大学(川勝)より資料(p.76)に基づいて2006年度の事業計画(案)の説明があった。

5) 2006年度東海地区協議会役員校および委員校について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.92)に基づいて報告があった。

6) 2006年度以降の理事校、当番校について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.77)に基づいて報告があった。

7) その他

- ・「館灯」広告掲載依頼に関し、今は広告掲載の内容事項については研究会の幹事校の方へ提出することが慣例となっているが、業者の方も紛らわしいのではないかと思われるので、2006年度以降からは、広告掲載の内容事項も理事校へ提出することが決められた。
- ・2005年から「館灯」に名簿が載らないので、別に何らかの形で作成してもらいたいとの要望が出されたが、個人情報保護を重視する立場から改めて名簿は作成しないこととなった。
- ・2006年度第1回常任幹事会を4月19日(水)に開くことにしていたが、委員校の都合により、4月24日(月)に変更になった。

以上